



# THE NEWS LETTER

日本歯科審美学会

Japan Academy of Esthetic Dentistry

2011 2011年6月 Summer

Vol. 23

## 巻 頭 言

### モザイクパワーで会の発展を

日本歯科審美学会次期会長・副会長 千田 彰



日本歯科審美学会の会員の皆様にはご清祥のことと存じます。ただ、今般の東日本大震災で被災された会員が、もしおいででしたら心からお見舞い申し上げ、一日でも早い復興をお祈り申し上げます。

この大震災には、皆様も大いに心を痛められたものと拝察しますが、一部の報道にもあるように、私たち日本人

は被災したことに対する悲しみ、不安を覚えただけでなく、一方で日本人が本来もっている人間性にあらためて気づかされ、人と人の結びつきの強さと優しさ感じさせられたのではないのでしょうか。

私が勤務する大学でも、津波のため避難して来た人々の中の逃げ遅れたひとを救おうとして、両親の目の前で津波に呑み込まれ、未だ行くえ不明となっている学生がいます。その勇気ある行動と弱い人を助けようとした真の優しさは、多くの報道でも賞賛されました。現実の復興は遅々としているところもあるようですが、例えば東北新幹線の営業再開をみて、日本人の誇りや自信を感じるのも被災者との一体感をもつからなのではないでしょうか。

震災から2週間ほどの間、審美歯科学会の関係者を含め、海外から連日20通を超えるメールを頂きました。私自身や家族の安否を気遣う内容もあるのですが、そのほとんどは日本に対する心配であり、「日本に何かできることがあったら」という内容でした。人間としての優しさ、Humankindの本質は、世界共通なのだとあらためて気づかされました。

本学会は、会員数4,000人近い日本の歯科界では有数の学会に成長しました。「研究会」と称された小規模学会時代を思うと、大発展を遂げたこととなります。「審美」という共通テーマのためにだけ、様々な分野からモザイクのように人々が集まった学際学会であり、専門家の集団である他の専門学会などに比べると、この発展は奇跡ともいえるのではないのでしょうか。その基盤は、人々の結合力、人の和にあるのではないかと思います。多様な分野の専門家同士の結合力であり、それが単に「混じり合う」のではなく、本質を消し合うことなく、融和することで本学会の現在と将来があります。ぜひ一体感を高め、一層の発展を目指そうではありませんか。

## 第22回 日本歯科審美学会学術大会のご案内



末瀬一彦大会長

3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今なお被災地での日常生活は大変なご苦労をされていることとお察し申し上げます。

海外からは東北地方だけではなく、日本に対して多数のお見舞いや激励が相次ぎ、改めて勇気づけられています。自粛ムードが高まるこのよう

な時期での学会開催になりますが、今こそ私たち一人一人ができること、学会という組織ができることを精一杯行い、日本の底力「元気」を発揮する時ではないかと思えます。

第22回日本歯科審美学会を平成23年10月7日(金)・8日(土)・9日(日)の3日間、奈良県新公会堂で予定通り開催させていただきます。今回の学術大会は決して華美ではありませんが、日本の「いにしへの都 奈良」で、審美を語ろう！「温故知新」のテーマで有意義な、充実した内容で開催しようと準備委員会が企画しています。

特別講演では、カンヌ国際映画祭でグランプリを受賞されました奈良県出身の女性映画監督・河瀬直美氏と、法相宗大本山薬師寺管主・山田法胤師が奈良から世界に「美しい心」を発信するご講演をしていただきます。また、シンポジウムでは「インプラント埋入時期と審美性」「よりよい個性美をめざして」「コンポジットレジンが実現する究極のMI」「審美歯科における歯周疾患への対応」と幅広いテーマについて審美歯科のトップランナーにご講演いただきます。さらに、教育講演として各専門分野における審美歯科のベーシックを教授いただき、企画講演として世界で活躍する日本の歯科技工士とアメリカの歯科医師によるコラボ講演も組んでいます。審美歯科はチーム医療の典型であることから、企画シンポジウムとして学会長と副会長による「歯科審美治療におけるチーム医療」について討論いただき、歯科技工士セミナー、歯科衛生士セミナーでは専門職の役割について深い議論をしていただきます。2日間にわたり、ランチョンセミナーや企業展示も各企業の温かいご後援のもと有意義な内容でサポートしていただきます。そして今学会の大きなポイントとして、会員のポスター発表に対して「Esthetic Award」を設定し、内容、プレゼンの仕方、審美性などを考慮して優秀賞を選出する予定です。日頃の臨床・研究成果を奮って発表し

て下さい。7日(金)には「学会認定医・認定士」審査を行いますので、思い出の地で資格獲得をめざしてください。

さて、今回開催します奈良県新公会堂は日本最大級の大屋根のもとに500名収容の「能楽ホール」がセールスポイントですが、本学会も特別講演やシンポジウムなどで使用するとともに、初日学会の締めくくりには、伝統芸能である「雅楽」演奏もお楽しみいただけます。その後は、広い庭園でレセプションを企画しています。この内容については当日までお楽しみとさせていただきます。また、学会が終了した翌日の10日(祝日)には、奈良の寺院めぐりと懇親ゴルフコンペも企画しています。会員同士の懇親を深めていただくとともに、奈良の深まる秋をお楽しみください。

現在、準備委員会において多くの皆様方をお迎えし、一味違った学会をお楽しみいただくための企画をあれこれ立案しています。会員の皆さん方におかれましてはスタッフ、家族、友人共々多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、参加登録、演題募集、宿泊予約、エクスカーション参加申し込みなどを専用ホームページで行っています。行楽の秋、奈良のホテルはかなり込み合うことが予想されます。できるだけ早急に参加登録していただきますようお願い申し上げます。

**【学術大会専用ホームページ】** <http://amarys-jtb.jp/JAED>

**がんばろう！日本 元気を出そう日本歯科審美学会！**



## 第23回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

### 第23回日本歯科審美学会学術大会にむけて

北海道大学大学院歯学研究科 口腔健康科学講座 歯科保存学教室

佐野英彦



このたびの東日本大震災に被災された地域の皆様ならびにご関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。北海道大学におきましては北海道大学病院をはじめとして、全学的に復興の支援活動に積極的に参加しようと取り組んでおります。早期の復旧、復興を心からお祈り申し上げます。

北海道では5月の初旬から17日ほどかけて桜前線が通過しました。札幌ではソメイヨシノとは種類の違う桜が満開の時期を迎えて気温が徐々に上がって来ることを期待したいところですが、「リラ冷え」(札幌市民はふつうに使っている言葉です)という5月下旬に暖かくなったと思ったら急に冷え込むという気候の変化が、まさに起こっているところです。ちなみにリラとはライラックのことで、札幌市の木となっています。札幌の観光シンボルの一つであるテレビ塔から撮りました写真に写っている大通り公園では、ライラック祭りがこの時期に催されます。もう一枚の写真は札幌市の西側にある旭山公園から札幌市内を一望したものです。5月の札幌をお知らせできればと掲載いたしました。



大通り公園

また、北海道大学の今時の風景として、ニュースレターvol.22でお伝えしました北海道大学病院歯科診療センター玄関前の銀杏並木の写真を掲載します。銀杏の木々は若葉をつけて来るべき秋の紅葉にそなえています。

とは言うものの、北海道におきましても震災の影響から外国からの旅行者、とくにアジア諸国からの旅行者が激減しており、その打開のため民間ならびに関係各機関で様々な取り組みがなされています。当教室におきましても一時帰国していた留学生が日本の現状を家族の方々が心配したため、再来日が大幅に引き伸ばされたということが起こりました。状況によっては来年のアジア審美学会への参加者の数に少なからず影響があるのではないかと危惧しています。

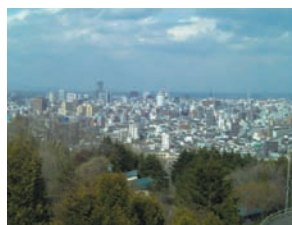
さて、第23回日本歯科審美学会学術大会(第12回アジア審美学会と併催)は平成24年7月20日から3日間、札幌市白石区の札幌コンベンションセンターにて開催される予定です。開催まで残すところあと一年と少しとなりました。震災の影響などいささか不明確なこともありまして、準備の方はかなり遅れ気味となっています。現在、準備委員会の立ち上げを行っており、大会の情報をお届けするためにホームページの作成を進めているところです。お忙しい皆様に対しましては、早急な情報の提供を図るべきところですが、遅れをきたしご迷惑をおかけしていることを心からお詫び申し上げます。今後、ピッチをあげて準備に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様にはご理解のうえ何とぞ今しばらくお待ち下さい。

.....

第12回アジア歯科審美学会・第23回日本歯科審美学会学術大会

**【会 期】** 2012年(平成24) 7月20日~22日

**【会 場】** 札幌コンベンションセンター(北海道・札幌市)



旭山公園からの展望



北海道大学銀杏並木

## アメリカ美容歯科学会報告

### 第27回 アメリカ美容歯科学会 (AACD) リポート

東京都開業 椿 智之

2011年5月18日～21日、BostonのHynes Convention Centerで第27回アメリカ美容歯科学会が開催されました。タイトルは“The Rise of Collaboration: Feel it !” 筆者も出席、講演をしてきましたので、その報告をいたします。

今回は約2,000人の参加がありましたが、本会からは会長の佐藤 亨先生、副会長の千田 彰先生、常任理事の富士谷盛興先生と筆者が参加しました。講演は毎日午前午後に分かれて、それぞれ15～20の演題の中から参加者が選んで出席します。

ただし数年前から事前登録方式になっており、講師によっては満員になっていて希望の講演に出席できないこともあります。

初日は朝8時から盛大なOpening Ceremonyの後にGeneral Sessionが行われ、その後9時半から一般講演が行われました。

終了後に場所をBoston Red Soxの本拠地であるFenway Park近くのスポーツバーに場所を移してWelcome Receptionが行われました。

3日目の金曜日はGeneral Sessionでの太鼓のパフォーマンスの後、午前中に筆者が講演をさせていただきました。

今回は“From Japan's Blackening to America's Whitening”と題して、AACDとJAEDの姉妹学会締結の記念講演として行わせていただいたのですが、内容は現在の日本のホワイトニング技術の進歩やJAEDについて、日本独自の制度であるJAEDのホワイトニングコーディネーターなどを中心にお話しさせていただきました。今回の講演はJAEDにとって非常に重要な意味のある講演であると認識しており、若干プレッシャーもありましたが、何とか責務は果たせたのではないかと安堵しております。



富士谷先生と筆者

最終日の21日土曜日の午前中には、本会の常任理事である富士谷先生が松風の後援で、“Using New ‘Injectable Hybrid Restoratives’ for Simplified Esthetic Procedures” というタイトルで、Hands-On Workshopを開催されました。ユニークな技法で終了後にも参加者から活発な質問が飛んでいました。

最終日は、最後のGala Dinnerがあるため、午前中は8時から、午後は12時半からと前倒しで行われました。Gala DinnerはHynes Convention Centerのボールルームで7時から開催されました。現AACD会長のDr. Hugh Flaxの挨拶に引き続き、認定医(士)とフェローの発表、Presentation of 2011 AACD Awardsの表彰と続きました。今回は認定医(士)26人、フェローは2人でしたが、その中でアメリカ在住の2人の日本人が認定医と認定士になったことは喜ばしいことです。

最後に次期会長のDr. John Sullivanが紹介され、夜遅くまで続いたDinner Danceで今回の学会の幕は閉じました。来年はLearn outside the linesというタイトルで5月2日～5日までWashington D.C.で行われる予定です。AACDとJAEDが姉妹締結して3回目となるこの学会にぜひ参加してみたいかがでしょうか。



最後のGala Dinnerにて



富士谷先生のハンズオン



## 南アジア歯科審美学会報告

### 南アジア歯科審美学会 (SAAAD) リポート

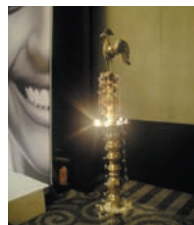
大阪大学大学院歯学研究科 歯科補綴学第1教室 若林一道

2011年5月28～29日、スリランカのコロomboにて第2回南アジア歯科審美学会が開催され、JAEDの国際渉外および広報として、中村隆志先生と講演をしてきましたのでご報告いたします。

まず、SAAADですが、参加国はネパール、スリランカ、インド、バングラデシュ、パキスタン、アフガニスタン、ブータン、モルディブとなっています。2年前に久光前会長、古川先生、中村先生と私の4人でネパールの第1回大会に参加しました。その際、お世辞でもきれいとは言い難い国ではありましたが、ネパールの人々は活気があり、また富士山とは比較にならないエベレスト山脈に感動し、今回のスリランカの学会も必ず参加すると決めた次第です。(余談ですが、ネパールのガイドさんが地球の温暖化のため、エベレストの雪が解け、様相が随分変わり悲しいと話されていました。)

スリランカに着いてまず思ったことは、意外と国全体がきれいで、整備されていたことです。町はそれなりに電気もついており(ネパールでは夜でも電気がなく、ろうそくで食事をしました。)、また道路も決して広い訳ではありませんが、きちんと舗装もされていました。一つだけ大きく違っていたのは、機関銃を持った兵士がいたるところに立っていたことです。

学会会場は、Colombo Cinnamon Grand Hotelでかなりの高級ホテルにて開催されました。詳しい参加人数はわかりませんが、おおよそ100名ほどの方が参加されていました。午前にはインドの先生によるインプラント治療に関する講演がありました。お昼は大会長Prof. R. L. Wijeyeweera、SAAAD会長Dr. V. Vijaykumaran、初代会長Dr. Sushil Koirallaらによる挨拶およびセレモニーがありました。セレモニーは簡単な民族舞踊とロウソクへの点火があり、ロウソクへの点火は会場の電気が消され厳かな雰囲気のもと



点火されたろうそく



SAAADの先生方

行われました。しかしながら、若干(とても?)挨拶が長く、予定時間よりも1時間遅く昼のセレモニーが終了しました。

1時間も時間がおしていましたので、私の講演はいつになるのかと心配したのですが、私の前のkoiralla前会長の2時間15分の講演予定が1時間30分で終了となり、少し啞然としましたが、無事時間通り講演を始めることができました。私たちの講演タイトルは“Current Dental Ceramics and their Clinical Applications”で、主にジルコニアの材料的特徴、日本のCAD/CAMシステムの紹介、臨床例について講演を行いました。海外での講演経験がほとんどありませんでしたので、本学会では良い経験をさせていただきました。今後はこの経験を活かし、少しずつステップアップしていければと考えています。夜の懇親会でインドの補綴の先生とお話をしたのですが、インドでは補綴、審美の重要性がまだ広く知られていない、だからこそ自分たちが頑張り、引っ張って行きたいとのことで、そのバイタリティーに感銘を受けました。

学会が終わったあと少し足を延ばし、スリランカ中央部の古都キャンディにある、世界遺産のダラダー・マーリガーワ寺院(別名仏歯寺)に行ってきました。本寺院はお釈迦様の犬歯が納められている寺院とのことで、仏歯は王権の権威を保証する証だそうです。7月のお祭では、仏歯が象の背中に乗せられて、神々の象徴である武器と共にキャンディーを練り歩くそうです。また、仏歯は雨を呼ぶともいわれ、作物の豊作をもたらす祈願の対象ともなっているそうで、歯科医師として一度見てみたかったのですが、残念ながら今回は仏歯を見る事はできませんでした。

次回は2年後インドで開催の予定だとの事で、次回も参加したいと思っています。東アジアには私たち日本人にとって、身近な文化が沢山ありますので、興味のある先生がいらっしやいましたら、是非ご参加ください。



講演中の筆者



ダラダー・マーリガーワ寺院(仏歯寺)

## 資格取得

### ホワイトニングコーディネーター資格を取って

はしば矯正歯科 須田絵里子

私は2009年(第13回)にホワイトニングコーディネーター(以下WC)資格を取得しました。

近年、ホワイトニングの関して沢山の情報が溢れていますので、患者さんのホワイトニングの知識も高くなっています。ホワイトニング治療を行う上で私たちは患者さんの求める情報を正しく、わかりやすく伝える情報提供者として重要な役割を担っています。WCを取得した事により正しい知識が身につき、何より私の中でホワイトニングに対する意識が向上しました。ホワイトニング治療において私たち歯科衛生士の関わることのできる部分は大きいと思います。ホワイトニングを希望する患者さんの口腔内の状態や求める白さはそれぞれ違います。各種ホワイトニング法やホワイトニング材の知識技術を習得し、ホワイトニングの心得をしっかりと身につけることができれば様々なケースにも対応できるのではないかと思います。

2011年4月3-4日に大阪で開催された第四回世界舌側矯正歯科学会学術大会のコ・デンタルセッションにおいて、私は「リンガル矯正治療におけるホワイトニングのストラテジー」というタイトルで講演致しました。当院では、矯正治療後にホワイトニングをするだけでなく舌側矯正治療中の方に、動的治療と並行してオフィスホワイトニングを行っています。矯正治療期間中にホワイトニングを行うことで歯並びの改善と白い歯を同時に獲得できるので、患者さんは大変喜ばれます。そしてホワイトニングをすることで更に口腔内への関心が高まり、口腔衛生の改善に繋がるというメリットもあります。

今後も、美しい口元になりたいと来院される患者さんが自信を持って笑顔になっていただけるように、WC資格を活かして診療に携わっていきたいと思っています。



第4回WSLOでの発表の様子



筆者と感謝状

## セミナー開催報告

### 第3回 セミナー開催報告

日本歯科大学生命歯学部歯科保存学講座 柵木寿男

平成22年度第3回セミナーは、佐藤 亨会長による基調講演の後、演者が野村正子先生、山瀬 勝先生、江黒 徹先生、千葉栄一先生、そして柵木が演者兼コーディネーターをつとめ、「保存補綴関連領域を中心とした多面的な歯科審美臨床の最前線を学ぶ」というメインタイトルで、平成23年3月13日(日)に東京都千代田区の日本歯科大学生命歯学部で開催されました。保存補綴領域関連としながらも、臨床的歯面研磨の助所、歯科用レーザーの審美臨床への活用、臨床的なシェードテイキング、歯科におけるアロマセラピー、飲食物によるコンポジットレジンの着色など多種多様な歯科審美に関する情報が提供され、約150名の参加者の方に受講していただきました。

セミナー開催日に先立つ2日前の3月11日(金)14時46分に東日本大震災が発生し、東京都内も震度5強の揺れがあり、電車等の公共交通機関すべてがストップしてしまいました。それから2日後のセミナー当日においては、都内の交通機関はある程度回復してきたものの余震は頻繁に生じ、来場者の方々の携帯電話からの緊急地震速報の警報音もそれに合わせてそこかしこで聞こえているという状態でした。

講演最中も演壇上のパソコンの液晶画面が頻繁に揺らぎ、顔を上げると投影スクリーンも波打っているというコンディションでありながらも、題目は無事に予定通りに進行了。アンケート形式による質問事項も多数寄せられ、さらに会場内からマイクによる直接の質問も加えて頂戴し、予定時間ギリギリまで熱い質疑応答が行われました。実は、当日は電力供給事情も不明で、夕方以降の突発停電等の不安もあり、質疑応答の延長に伴い終了時間も延長となったらどうしようかとひそかに冷や汗をかいていたのが、壇上でのコーディネーターでございました。

誌面をお借りしてですが、参加していただいた皆様方に厚く御礼申し上げますとともに、事前参加登録したにも関わらず諸般の事情によって来場できなかった方々、そして多くの被災された方々皆様に心よりお見舞申し上げます。



## 委員会報告

### 歯科審美編集委員会

前回のニュースレターでも述べましたように、今期は佐藤亨会長のご意向で、編集委員会と広報関連の委員会が統合され、広報・編集部会が設置されました。その中に、「歯科審美編集委員会」と「ホームページ・ニュースレター委員会」が置かれ、機関紙である「歯科審美」とニュースレターにホームページをリンクさせ、歯科審美学会の広報活動がこれまで以上に活発に行えるようになりました。

具体的には、「歯科審美」の掲載内容をホームページに掲載し、学会員以外の方にも「歯科審美」に関心を持って頂きたいと思っています。詳細につきましては、現在「歯科審美」編集委員会で検討中です。

機関紙「歯科審美」の発行については、年2号(9月と3月)発行しています。平成23年3月20日発行の第23巻2号についてはすでに発行され、平成23年9月20日発行の第24巻1号の投稿締め切りは平成23年5月20日ですすでに締め切っており現在編集作業が始まっております。第24巻2号の締め切りは平成23年11月4日ですので、10月に開催されます奈良の学会で発表された研究についてどしどし投稿して頂きたいと思っています。

これからも広報活動を活発に行っていきたいと思っておりますので、忌憚のないご意見を皆さんから頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。(委員長 寺田善博)

### 国際渉外委員会

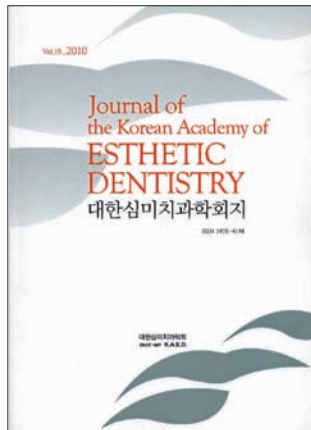


写真1 佐藤 亨会長挨拶とJAEDより投稿の症例報告が掲載されたKAED雑誌。

平成22年後半から平成23年前半の国際渉外活動についてお知らせします。日本歯科審美学会(JAED)は、姉妹協定を結んでいる韓国歯科審美学会(KAED)およびAACD(American Academy of Cosmetic Dentistry)と学会での演者や論文の交流を進めております。昨年は、12月に発行された韓国歯科審美学会雑誌(Journal of the Korean Academy of Esthetic Dentistry Vol.19、写真1)に佐藤 亨会長の挨拶と宮前守寛先生(認定医)の症例報告が掲載され

ました。本年は、AACDの雑誌にも同様に佐藤 亨会長の挨拶とJAEDより投稿した症例報告が掲載される予定です。また、5月18-21日にボストンで開催されるAACD大会で椿智之理事が講演されます。11月13日にソウルで開催されるKAED大会にもJAEDより演者を派遣する予定です。

2月にシカゴで開催されたIFED (国際歯科審美学会) 総会には、佐藤 亨会長、千田 彰副会長、中村 (国際渉外) が出席しました (写真2,3)。今年はIFED大会が11月2-5日にリオデジャネイロで開催される予定です。このような審美の国際学会に関する情報は、JAEDのホームページに掲載しております。機会があれば、日本の会員の方々にもご参加いただきたいと思います。 (委員長 中村隆志)



写真2 IFED総会での会長挨拶 (パークハイアットホテル)。



写真3 AACD Sesemann前会長とのスナップ。同学会のレセプションにて。

.....

### 国内渉外委員会

平成22年度より開始しました歯科衛生士養成校および歯科技工士学校を対象にした出張講義事業は北海道から九州に至る全国19校から申し込みをいただきました。学会役員のご尽力により平成22年度分の17校の講義が終了しました。

講義に対しては審美に関する分野は保存修復学、補綴学、矯正学などの科目で学習しているが、統合的な講義と豊富な症例提示による臨床に即した内容が有意義であったとの高い評価を得ました。

また、ホワイトニングコーディネーター制度や認定士制度にも興味を示されました。この事業により歯科審美学教育の充実の必要性が認識されたことで当初の目的は達せられたものと確信しております。

平成23年度も出張講義事業を継続することになっておりますので引き続きご理解を賜れば幸いです。 (委員長 福島正義)

## 社会保険委員会

「次期診療報酬改定における医療技術評価提案書に係る説明会」が、さる4月14日に日本歯科医師会館で開催されました。これは、歯科医療における診療報酬改定に当たり、限られた財源を有効的に活用するために新規医療技術の評価及び既存技術の再評価が行われている。すなわち、学会等から提出された技術評価希望書を参考に、中央社会保険医療協議会調査専門組織の医療技術評価分科会において検討が進められ、中央社会保険医療協議会総会へ報告が行われている。

今回の説明会では、新たな医療技術や再評価が必要と考えられる医療技術について、それらの有効性、安全性、技術的成熟度、倫理性・社会的妥当性普及性あるいは既存の技術と比較した効率性等に関して、根拠を含めた評価希望書の記載に関する考え方とその実際について、歯科医学会とともに厚労省の技官から詳細な解説が行われた。(委員長 宮崎真至)

## 認定医審議会・認定士審議会

前回のニュースレター(2010 Winter Vol.22)以降の活動をご報告致します。

1. 平成22年12月9日(木) 平成22年度 第3回合同会議
    - 1) 第28期認定医申請者の書類審査：10名審査、10名合格
    - 2) 認定医更新希望者の書類審査：5名審査、5名合格
    - 3) 認定士更新希望者の書類審査：歯科技工士7名審査、7名合格
  2. 平成23年2月11日(金)・12日(土) 平成22年度 第4回合同会議
    - 1) 第28期認定医審査(症例提示および口頭試問試験)：6名受験、5名合格、1名保留
    - 2) 第25期認定医審査(症例提示および口頭試問試験)保留者の再々試験：1名受験、1名合格
    - 3) 第11期認定士審査(症例提示および口頭試問試験)保留者の再試験：歯科衛生士1名受験、1名合格
    - 4) 第11期認定士審査(症例提示および口頭試問試験)：歯科衛生士1名受験、1名合格
    - 5) 認定士更新希望者の書類審査：歯科技工士2名審査、1名合格、1名保留
    - 6) 第29期認定医および第12期認定士試験
      - ・申請受付期間：平成23年4月1日(金)～平成23年5月16日(月)必着
      - ・書類審査：平成23年6月25日(土)
      - ・症例提示および口頭試問試験：平成23年8月6日(土)・7(日)
    - 7) 今後のスケジュールについて
- 役員の先生方は是非ともご申請下さいませようお願い致します。
- (1) 第30期認定医試験申請受付期間：平成23年6月1日(水)～30日(木)

- ・書類審査：平成23年8月6日(土)
- ・症例提示および口頭試問試験：平成23年10月7日(金)・9日(日)  
第22回日本歯科審美学会学術大会(奈良)にて
- (2) 第31期認定医試験申請受付期間：平成23年10月3日(月)~28日(金)
- ・書類審査：平成23年12月8日(木)
- ・症例提示および口頭試問試験：平成24年2月11日(土・祝)・12日(日)  
(委員長 富士谷盛興)



### セミナー委員会

去る3月13日、日本歯科大学生命歯学部富士見ホールにおいて平成22年度第3回セミナー「保存補綴領域を中心とした多面的な歯科審美臨床の最前線を学ぶ」を開催いたしました。278名もの受講申し込みをいただいておりますが、2日前に東日本大震災が起り、開催も危ぶまれる状況となりました。それでも当日165名の参加をいただき、大変充実したセミナーにすることができました。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、開催にご尽力いただいた関係各位に心よりお礼申し上げます。申し込みをしていたにもかかわらず震災の影響で参加できなかった方々には、特例措置として申し込み金の返金をさせていただきます。

さてセミナー委員会では、一般歯科医師、技工士、衛生士に対し歯科審美を啓蒙し、正しい知識を普及させること、会員やホワイトニングコーディネーターのレベルアップをはかり、歯科審美学の高度な専門的知識や技術を持つ歯科医師、技工士、衛生士を育てること、これまで独自に活動をしていた学術関連の各種委員会を再編し、委員会間の縦横の連携を密にして効率的かつ効果的な企画をすることを3つの大きな目標として掲げ、総合テーマを「これからの歯科審美の道標」と題して活動してまいりました。おかげさまで学術関連の各委員会にご協力いただき、平成22年度に開催したセミナーはいずれも多数の参加をいただく大変有意義なものとなりました。平成23年度も引き続きこの方針のもと、さらに充実したセミナーを開催していく所です。以下は現時点で決定している企画ですが、この他にも



技工士セミナー委員会と連携して技工士対象セミナーを企画する予定です。会員の皆様にはぜひご参加のご予定をいただきませうようお願い申し上げます。 (委員長 日野年澄)

### ホワイトニングコーディネータ委員会

去る2011年2月13日(日)寒さの中にも会場には日差しが差し込む快晴の中、第20回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験が東京医科歯科大学MDタワー講堂2階で行われ、DH465名、Dr.6名の参加者数となりました。

ホワイトニングの基礎知識と技術、心得を中心とした講義を受講していただき、現在までに多くのホワイトニングコーディネータが誕生していますが、今回も受験された皆様が合格しています。

本年度からは、資格者のフォローアップとレベルアップを考え、“アドバンスコース”を設けています。ホワイトニングの知識を深く知るだけでなく、歯科衛生士にできる“審美歯科治療”に関して広範囲にわたり臨床経験豊富な講師が様々な思考をこらし講習をおこなっています。

またさらなるレベルの高いホワイトニングコーディネーターが増えることを楽しみにすると同時に、私たち委員会でも、新しい情報を提供できるよう常にアンテナを張り、臨床に取り組んでいかなければと思っています。 (委員長 真鍋厚史)



### MTM研修推進委員会

去る3月11日に日本各地を襲った東日本大震災において、甚大な被害を被った会員の方もいるかと思われます。この場をお借りして、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興を祈念いたします。私が所属いたします岩手医科大学も震災の多大なる影響を受けました。そのような中で、私ども歯科医療関係者が「何ができるのか、何をすべきか」を再度考える事態に直面いたしました。未だ各地に大きな傷跡を残している状況で、会員の皆様お一人お一人のご尽力が必要な時であることは、

間違いないことと思います。

さて、MTM委員会では、昨年度より編纂する方向で検討しております「MTM治療に関するQ&A集」に関して、本年は何らかの方法で、直接会員の皆様方から治療上の疑問点などをお伺いできる機会を設けたいと考えております。本件に関しましても、重ねて会員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

(委員長 三浦廣行)

.....

### 歯科衛生士部門

#### 歯科審美・自然美への国民の意識向上のための歯科衛生士の役割

近年、文明の進歩とともに国民一人一人の歯科審美・自然美への意識は高まってきております。一方で、文明社会で重要な人間相互の優れたコミュニケーションを図るために相手に不快感を与えない最も基本的なエチケットとしての歯科審美については国民の意識が高まっているとは言えません。歯の自然な皓い色も重要ですが、その他に笑顔にかかわる口腔周辺の審美、見えない審美としての口臭等その範囲は幅広く、これらのトータルな歯科審美を社会全体に啓発していくことが重要です。

筆者は、これまでいわゆる社会審美的な取り組みを行ってきましたが、その活動は、全てのジェネレーションに共通に必要です。まず、乳幼児および学齢期においては保護者への教育がポイントとなります。子どもの時期の口腔保健が将来の審美性の育成に重要となります。また、就業者の調査においては審美性への国民の意識は低いことがわかりました。また、自立高齢者においては、さらに審美性への意識は低く、全年代に対する啓発活動が求められます。いつまでも『美味しく食べ、楽しく話し、美しい笑いのある健口美のある生活』をサポートすること、人間としての尊厳ある『Beautiful ageing』をサポートする視点が重要です。

(副会長 武井典子)

.....

### 表彰委員会

平成22年度の表彰実績と学会功労賞受賞者表彰の様子について、ニュースレターVol.22(2010年12月)で報告させていただきましたが、同ニュースレターには優秀奨励論文賞と優秀発表賞(デンプライ賞)受賞者の声が掲載されています。是非、ご一読下さい。平成22年度は、新制度下での表彰の最初の年で、周知不足ということもあって、残念ながら、優秀研究論文賞ならびに優秀臨床論文賞については該当者がありませんでした。優秀論文賞候補者の推薦・募集は、3月発行の歯科審美第2号に掲載され、5月31日に締め切られます。対象は、前年度までの過去

3年度間に本学会学術大会で発表し、本会機関誌歯科審美に掲載された論文です。是非、ご準備のうえ、奮って推薦・応募して下さいようお願いいたします。本表彰制度が学会の発展に寄与することを願っています。  
(委員長 長岡英一)

.....

**広報・編集委員会 ホームページ・ニュースレター作業部会**

ホームページ・ニュースレター作業部会は編集委員会と共同して広報関連の仕事を進めております。すなわち機関誌である「審美歯科」(年2回発行)それらを補足するニュースレター(年2回発行)にホームページ(最新の情報提供と過去の記録)を有効にリンクさせ、歯科審美の広報活動をする事です。

このような背景のもと、昨年6月にはホームページの全面改訂作業を実施し、10月には佐藤 亨会長、大槻総務にもご参集いただき広報関連の今後のあり方、ホームページリニューアル後の問題点について協議をいたしました。その結果を踏まえ、第2次のホームページリニューアルを2011年3月に実施いたしました。細かい修正点は多々あるのですが、主要な改訂点は過去の学会履歴を同一フォーマットで見えるようにすることです。そのほか、ニュースレターやセミナーの記録など、過去の履歴を見やすいように配慮するなど、かなり修正を加えております。是非、皆様の忌憚のないご意見をいただきたく、よろしく願いいたします。さらに本年は速報等を入れられるシステムの導入や、まだ手がほとんど届いていない英文ホームページも手をつけていきたいと考えております。こちらも、ご協力のほどよろしく願いいたします。

次にニュースレターですが、こちらは橋場副部長主導のもと昨年はほぼ定時に2巻の発行を終えることができました。まずは多くの会員、寄稿者の皆様に感謝申し上げます。佐藤 亨会長も満足とのことで、今年度もこの形式を進めることとなっております。なお、ニュースレターは会員とプラスアルファ(ホワ



イトニングコーディネータ等)を読者の対象とすることが、佐藤亨会長にもご参集いただき、昨年開催された広報関連の合同委員会でも確認されていますので、寄稿等に関しましてはご理解のほどよろしく御願いたします。

最後に、昨年のホームページリニューアル後にホームページの中に会員専用ページが開設されました。こちらは齋木副会長が担当されました。昨年8月の盛岡(安比高原)での学術大会から研修履歴が会員専用ページからの閲覧ができるようになっていきます。履歴をご確認いただけますとともに、会員証を忘れずに、学術大会やセミナーにご持参いただきます様よろしく御願いたします。

(委員長 佐藤博信)

#### 会員数・認定医および認定士数(2011年4月1日現在)

【会員数/3,678名(社)】

A会員(歯科医師) /2,429名

B会員(歯科技工士、歯科衛生士等) /1,219名

賛助会員/30社

【平成22年度入会者/442名(社)】

A会員 /211名・B会員 /229名・賛助会員/2社

【平成22年度退会者(3年未納退会を含む) /280名】

A会員 /134名・B会員 /146名・賛助会員/0社

#### セミナー・講習会開催予定一覧

##### ●第21回WC講習会・第2回ホワイトニングアドバンスセミナー

【日時】2011年6月12日(日)

【場所】梅田スカイビル・ステラホール(大阪)

※定員に達したため、参加申込受付を終了しました。

##### ●第22回WC講習会・第3回ホワイトニングアドバンスセミナー

【日時】2011年9月11日(日)

【場所】JR博多シティ・九州ホール(福岡)

##### ●第23回WC講習会・デンタルカラーコーディネーターセミナー(仮称)

【日時】2011年11月13日(日)

【場所】ベルサール飯田橋ファースト(東京)

##### ●第24回WC講習会

【日時】2012年1月29日(日)

【場所】未定(名古屋)

## トピックス

### 口腔内スキャナーによる光学印象

大阪大学大学院歯学研究科 中村隆志



審美歯科関連で今年の大きなトピックの一つに口腔内スキャナーを用いた光学印象があげられます。従来の印象法とは異なり、口腔内にスキャナーを挿入して歯列を撮影することにより、光学的に印象採得が行えます。

光学印象が最初に導入されたのは、1985年に実用化されたCAD/CAMシステムCerec 1(当初Siemens現在はSirona)です。このシステムは対象がインレーに限られ、精度も良好とはいえませんでした。印象材を使用せずに印象採得が行え、チェアサイドでセラミックスの修復物が製作できる画期的なシステムでした。その後、セラミックスの加工用に数々のCAD/CAMシステムが開発されましたが、ほとんどのシステムは模型を計測するもので、口腔内で使用できるスキャナーはCerecのみでした。

数年前にiTero (Codent)やLAVA COS (3M)といった口腔内スキャナーが開発され、従来の模型用スキャナーだけでなく、



図1 日本で最初に導入される口腔内スキャナーLAVA COS (3M)。17インチのモニターはタッチスクリーン式で、2D/3Dの表示切り替えができる。

口腔内で使用できるスキャナーに注目が集まるようになりました(図1)。口腔内スキャナーによる光学印象が従来の印象法より優れている点として、印象材が不要、印象採得が片顎2～3分で行え患者の負担が少ない、モニターによる確認が可能で再印象が容易、デジタルデータを保存可能、セラミックスを加工するCAD/CAMシステムに直接データ転送が可能、石膏模型が不要などがあげられます。このスキャナーで採得したデータをもとに光造形やミリングにより作業用模型を製作すれば、従来法による技工操作が可能になるので、セラミックスだけでなくメタルにも対応できます(図2)。問題点としては、システムが高額である、歯肉縁下の印象がとりにくい、信頼性が現時点では従来法に比べて劣っているなどがあげられます。

昨年まで口腔内スキャナーはCerec AC、iTero、LAVA COS、E4Dの4種だけでしたが、今年になり多くのジルコニア用CAD/CAMシステムで模型用スキャナーとソフトが採用されている3Shape社が参入するなど、OEMで供給されているものも含め、多数の新しい口腔内スキャナーが登場しました。また、従来から販売されていたものも改良を受けより使いやすいものになっています。2011年中には、日本でもLAVA COSが発売される予定であり、口腔内スキャナーの発達と普及が期待されます。

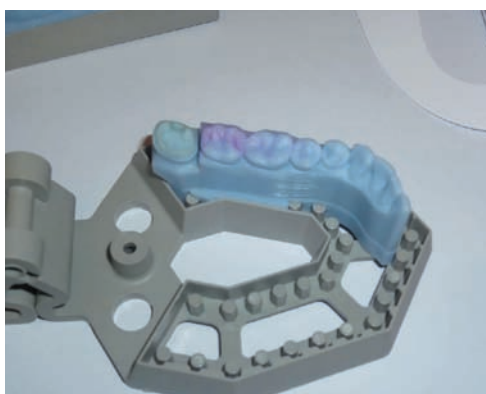


図2 採得したデータをもとに光造形により製作した作業用模型(3M)。

## 賛助会員一覧

### 相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社  
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2  
Tel: 042-366-1201  
<http://www.aida-j.jp>



アストラテック株式会社  
〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-1  
八重洲口大栄ビル12F  
Tel: 03-3243-5055  
<http://www.astratech.jp>

### 石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社  
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7  
Tel: 03-3252-8471  
<http://www.ishifuku.co.jp>



医歯薬出版株式会社  
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10  
Tel: 03-5395-7630  
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社  
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24 4F  
Tel: 03-6903-3535  
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社  
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-15  
ATビル2F  
Tel: 03-3437-0751  
<http://www.ultradent.com/>



株式会社エイコー  
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10  
Tel: 03-3834-5777  
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>

### 長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社  
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5  
Tel: 03-3492-7651  
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6  
クイントハウスビル  
Tel: 03-5842-2270  
<http://www.quint-j.co.jp/>



クラレメディカル株式会社  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3  
大手センタービル  
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922  
<http://www.kuraray.co.jp/dental>

### サンメディカル株式会社

サンメディカル株式会社  
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2  
Tel: 077-582-9981  
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14  
Tel (お客様窓口): 0120-416480  
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風  
〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11  
Tel: 075-561-1112  
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社  
〒104-0061 東京都中央区銀座8-2-1-1  
住友不動産汐留浜離宮ビル5F  
Tel: 03-5148-7895  
<http://www.sirona.co.jp>

## 3M ESPE

スリーエムヘルスケア株式会社  
〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1  
Tel(フリーダイヤル): 0120-332329  
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>

## タカラベルモント株式会社

タカラベルモント株式会社  
〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1  
Tel: 06-6212-3619  
<http://www.takara-dental.jp>



デンツプライ三金株式会社  
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10  
Tel: 03-5114-1001  
<http://www.dentsply-sankin.com>

## Tokuyama Dental

株式会社トクヤマデンタル  
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9  
イトーピア清洲橋通ビル7F  
Tel: 03-3835-2261  
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>

## NISSIN

株式会社ニッシン  
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル  
秋野々町513  
Tel: 075-257-7255  
<http://nissin-dental.jp>

## 白水貿易株式会社

白水貿易株式会社  
〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15  
Tel: 06-6396-4400  
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>



株式会社ハーマンズ  
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10  
若葉西ビル4F  
Tel: 03-3770-0863  
<http://www.hermans1984.co.jp/>

## Dent Wave.com

プランネットワークス株式会社  
〒104-0042 東京都中央区入船2-1-1  
住友入船ビル1304  
Tel: 03-3523-4188  
<http://www.dentwave.com>

## PENTRON<sup>®</sup> JAPAN INC.

ベントロン ジャパン株式会社  
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17  
レ・ジュ大井町6F  
Tel: 03-5746-0316  
<http://www.j-pentron.com/>

## 株式会社 茂久田商会

株式会社茂久田商会  
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5  
Tel: 078-303-8241  
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会  
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35  
Tel: 06-6773-3333  
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ  
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18  
Tel: 06-6380-2525  
<http://www.dental-plaza.com>

## 株式会社 ヨシダ

株式会社ヨシダ  
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9  
Tel: 03-3845-2971  
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

サウスコーストデンタル株式会社  
パナソニックヘルスケア株式会社  
メディア株式会社





PYRENEES  
In-Office Teeth Whitening System

白い歯、  
輝いていますか？

#### ■ピレーネ症例



ホワイトニング前

術中

ホワイトニング後

歯科用漂白材 **ピレーネ** ■標準価格 30,000円

ピレーネトライアルキット ■標準価格 8,900円

●医療機器承認番号 21800BZZ10066000 ●医療機器の分類 高度管理医療機器(クラスⅢ)

◎掲載商品の標準価格は、2011年5月23日現在のものです。標準価格には消費税は含まれておりません。

◎ご使用に際しましては添付書を必ずお読みください。

製造販売 三菱ガス化学株式会社  
三重県四日市市日永東2-4-16

発売 株式会社モリタ

大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525  
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161

[www.dental-plaza.com](http://www.dental-plaza.com)

## 日々の診療のさまざまなシーンで活躍する ビジュアルコンサルテーションツール

### デジタルシェードテイキング クリスタルアイ

Crystaleye Spectrophotometer

Crystaleye



※製品にPCは  
含まれません

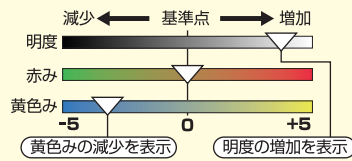
ワンタッチで簡単に撮影

外光を遮光し、撮影環境の統一

7bandLED 光源による高精度な測色

#### 色調変化をグラフ表示

術前の色調を基準とし、術後の色調がどのくらい変化しているかをグラフで確認できます。



※グラフは説明用のイメージです。実際の画面とは一部異なります。

#### 画像内の歯のみを任意のシェードに変更



VITAPAN Classical A3 VITA 3D-MASTER OM1

#### スプリット表示

補正前と補正後の画像を左右半分ずつ合成し表示できます。



製造元: オリンパス株式会社

製造販売元: ペンタロン ジャパン株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 レ・ジュ大井町 6F  
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人/佐藤 亨

編集/日本歯科審美学会 広報・編集部会

印刷/三宝印刷株式会社

日本歯科審美学会

[www.jdshinbi.net/](http://www.jdshinbi.net/)